

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (演習)	3. 科目番号	PSMP3151
2. 授業担当教員	緒方 二郎		
4. 授業形態	グループ発表、ディスカッション、体験学習 (ロールプレイなど)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学やカウンセリング関連の授業を履修していること		
7. 講義概要	<p>心理学的支援法とは、何らかの援助を求める人(クライアント)に対して、行動変容を目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする試みのことであると考えられがちである。しかし現代社会においては、心理援助を行う者の心構えは(カウンセリング・マインドと言われる)、対クライアントのみならず、地域支援やクライアント関係者、また大学での友人関係や部活動並びに職場や家庭においても「お互いに支えあう人間関係」を築く上で、重要な考え方とあり方を示唆している。そこで、本演習では、カウンセリングの理論と技法を学ぶと共に、より広く訪問支援や地域支援、クライアント関係者支援などの援助についても学び、自分の日常のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、相手に寄り添うより適切な援助法を身に付ける。また、守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮も学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法(論理療法)を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	配布資料を自分なりにまとめておくこと、学習目標の1~4の内容に関するレポートを課します。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】なし</p> <p>【参考書】・河合隼雄(1998). 河合隼雄のカウンセリング入門. 創元社 ・成瀬悟策(1968/2007). 催眠面接法. 誠信書房 ・成瀬悟策(2016). 臨床動作法. 誠信書房 ・信田さよ子(2020). カウンセリングで何ができるか. 大月書店 ・田中新正・鶴光代・松木繁(編著)(2020). 催眠心理面接法. 金剛出版 ・植村勝彦編(2007). コミュニティ心理学入門. ナカニシヤ出版</p> <p>【授業資料】・Korchin(著)・村瀬孝雄(訳)(1976/1980). 現代臨床心理学. 弘文堂 ・ジェフレイ.K.ゼイク(編)・成瀬悟策(監訳)(1989). 21世紀の心理療法I・II. 誠信書房</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法(論理療法)を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 授業への参加(出席、態度、発言) 50% レポート・発表・確認テスト 50% 以上で評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>カウンセリングとは何か?なぜ始まったのか、そしてどのように発展し、将来どのような方向に歩んでいくのかなど歴史を紐解きながら、代表的な心理療法を学んでいきます。具体的には精神分析、行動療法、認知行動療法、来談者中心療法、催眠面接法、臨床動作法などいくつかの立場を包括的に学んでいきます。心理療法は非常に有用ではありますが、扱いには注意が必要です。技術に溺れることなく、目の前の人を第一に考え、対応することをしっかりと意識して学習してほしいと思います。</p> <p>またカウンセリングを誰に対してするのか(対象や病態水準)や基本的な理論や構造論(時間枠や場所、場面設定)についても解説します。</p> <p>その他地域支援・訪問支援・危機介入・心の健康教育などをコミュニティ心理学の立場から学び、また心理援助職の義務や倫理についても学習します。特にプライバシーへの配慮は重要な概念なので意識して学習してほしいと思います。</p> <p>1970年代に作られた臨床心理学のテキストである「現代臨床心理学」や「21世紀の心理療法I・II」の中から、最も基本的と思われるいくつかの章を精読し、解説とともにディスカッションを行います。</p> <p>授業態度に関する加点・減点の具体的な内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は、よく聞き、よく考え、そして復習をすること。 2. ディスカッションやグループワーク等において、自主的・主体的かつ協力的に学習を進めること。 		

	3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退、中抜けをしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 携帯電話・スマートフォンの授業中の作動は厳禁とする。他の受講生の学習に迷惑をかける行為（私語、居眠り、グループ活動に協力しない等）を慎むこと。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 心理学的支援法とは何か？カウンセリングとは何か？	事前学習	心理学的支援法とカウンセリングの意味について調べておくこと
		事後学習	授業で学んだことをまとめておくこと
第2回	カウンセリングの歴史	事前学習	カウンセリングの歴史について調べておくこと
		事後学習	カウンセリングの成り立ちからその発展の経緯を説明できるようにまとめておくこと
第3回	心理療法とは何か	事前学習	心理療法の意味について調べておくこと
		事後学習	心理援助職としての基本的な態度についてまとめ、説明できるようになること
第4回	心理療法の過程	事前学習	心理療法の過程について調べておくこと
		事後学習	心理療法の過程について理解し、まとめておくこと
第5回	精神分析	事前学習	精神分析について調べておくこと
		事後学習	授業で学んだ精神分析の基本的概念について復習すること
第6回	精神分析的な心理療法	事前学習	精神分析的な心理療法の面接技法についてまとめておくこと
		事後学習	クライアントの言動をどのように理解するのか、力動的視点から整理すること
第7回	行動療法 認知行動療法	事前学習	学習心理学について復習しておくこと
		事後学習	行動療法と認知行動療法の違いと基本概念についてまとめておくこと
第8回	来談者中心療法	事前学習	来談者中心療法におけるセラピストの3つの態度について復習しておくこと
		事後学習	来談者中心療法の基本概念が心理援助職にとって重要である意味を考え、まとめること
第9回	催眠面接法と臨床動作法1 理論	事前学習	催眠面接法、臨床動作法について調べる
		事後学習	催眠面接法、臨床動作法の理論についてまとめること
第10回	臨床動作法2 技法	事前学習	からだを使った心理学的支援法の利点を考えること
		事後学習	動作を扱うことの特徴や意味を整理すること
第11回	カウンセリングの構造	事前学習	カウンセリングは誰にでも可能なのか考えること
		事後学習	カウンセリングの適切な構造を理解し、まとめておくこと
第12回	地域支援の意義・訪問による支援・関係者への支援・心の健康教育	事前学習	コミュニティ心理学の定義を調べること
		事後学習	地域支援・訪問支援・関係者への支援・心の健康教育における注意点について整理し、まとめておくこと
第13回	危機介入における心理学的支援	事前学習	危機介入の意味を調べておくこと
		事後学習	危機介入における心理学的支援について整理し、まとめておくこと
第14回	心理師の義務・倫理1 情報の取り扱い・プライバシーの配慮	事前学習	守秘義務、インフォームドコンセントについて調べておくこと
		事後学習	心理援助職として、情報の取り扱いにおける注意点について整理し、まとめておくこと
第15回	心理師の義務・倫理2 研修とSV	事前学習	心理援助職はどのように研修を受けているのか調べておくこと
		事後学習	心理援助職が研修を受けること、またSVを受けることがなぜ重要なのかを整理し、まとめておくこと